

研究報告

十日町市松之山のハナアブ科の追加記録 II (昆虫綱：ハエ目)

加藤大智¹⁾・小林頼叶²⁾・小林光²⁾・平賀戸貴和²⁾・平賀利江²⁾・村越心士³⁾・村越董³⁾・村越勝彦³⁾・村越舞³⁾・大谷成輝⁴⁾

¹⁾ 十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ, 十日町市

²⁾ 南魚沼市

³⁾ 上越市

⁴⁾ 十日町市

(2023 年 12 月 26 日受付; 2024 年 3 月 1 日受理)

Records of Syrphidae from Matsunoyama, Tokamachi City, II (Insecta: Diptera)

Daichi KATO¹⁾, Raito KOBAYASHI²⁾, Hikaru KOBAYASHI²⁾, Tokiwa HIRAGA²⁾, Rie HIRAGA²⁾, Shinto MURAKOSHI³⁾, Sumire MURAKOSHI³⁾, Katsuhiko MURAKOSHI³⁾, Mai MURAKOSHI³⁾, Masaki OTANI⁴⁾

¹⁾ Echigo-Matsunoyama Museum of Natural Science 'Kyororo', Tokamachi City

²⁾ Minamiuonuma City

³⁾ Jôetsu City

⁴⁾ Tokamachi City

はじめに

ハナアブ科とは昆虫綱ハエ目における分類群の一つで、多くの種の成虫は花に集まる習性がある。ハナアブ科はハエ目の中でも種数の多いグループであり、日本で 458 種 (Ôhara et al. 2014), 新潟県内では 189 種 (うち学名不明種 26 種) (Choi et al. 2006; 加藤ら 2022; 櫻澤 2022; 加藤ら 2023) が知られている。「森の学校」キョロロでは、松之山の生物多様性の解明の一環としてハナアブ科を対象とした市民協働調査「ハナアブしらべ」及びその他の個人的な調査により、松之山における本科のファウナが徐々に解明されてきている。これらの調査はハナアブしらべが開催された 2020 年から 2023 年現在まで継続されており、その成果について 2 報が公表されている。2020 年から 2021 年までの成果では 82 種が松之山から確認され (加藤ら 2022), 2022 年の成果では 14 種が追加され、合計 96 種となった (加藤ら 2023)。本稿では 2023 年における「ハナアブしらべ」及び個人的な調査により、新たに松之山未記録種が複数得られたので、既知種も含めここで報告する。

調査地と方法

調査は 2023 年に新潟県十日町市松之山における以下に示す地点で実施された (表 1)。採集は捕虫網を用い、スィーピング法またはルッキング法により採集した。本調査で採集した標本は針刺し標本または台紙貼り標本にし、キョロロの収蔵庫に保管した。ハナアブ科の分類体系は Syrphidae Community Website (<https://syrphidae.myspecies.info/>, 2023.12.15 参照) に従った。和名はハナアブ世界

(<http://syrphidae.a.la9.jp/index.html>, 2023.12.15 参照) に従った。松之山初確認の種には末尾に「*」を付けた。

表 1. 本調査における採集地.

略称	地名	標高	座標
キョロロ	松之山松口 「森の学校」キョロロ	310 m	37.0987, 138.6145
天水山	松之山天水越 天水山	920–1088 m	37.0236, 138.5617
大松山	松之山湯本 大松山	603–672 m	37.0741, 138.5870
大荒戸	松之山大荒戸	352 m	37.1015, 138.6071

結果

2023年の調査の結果、松之山から50種（うち学名不明種2種）のハナアブ科が採集され、そのうち11種が松之山から初記録であり、このうちの3種（オオフトモンハナアブ、カオグロオビホソヒラタバブ、オオクチグロハナアブ）は新潟県初記録であった。したがって、これまでに松之山から確認されたハナアブ科は合計105種（うち学名不明種19種）となった。

ハナアブ科 Family Syrphidae

アリノスアブ亜科 Subfamily Microdontinae

1. キンアリノスアブ *Microdon (Microdon) auricomus* Coquillett, 1898

[採集標本] キョロロ：1♂2♀, 2023/6/17, 平賀戸貴和.

ナミハナアブ亜科 Subfamily Eristalinae

ハナダカハナアブ族 Tribe Rhingiini

2. マツムラクロハナアブ *Cheilosia matsumurana* (Shiraki, 1930)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/6/18, 加藤大智.

3. スズキフトモンハナアブ *Ferdinandea cuprea* (Scopoli, 1763)* (図1a)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/6/18, 加藤大智；1♂, 2023/8/19, 村越心士.

[備考] 新潟県内記録として、魚沼市（竹内 2009）と三条市（櫻澤 2022）がある.

オオシマハナアブ族 Tribe Sericomyni

4. モンキモモフトハナアブ *Pseudovolucella decipiens* (Herve-Bazin, 1914)

[採集標本] 大松山：1♂, 2023/5/20, 加藤大智.

ハナブトハナアブ族 Tribe Brachyopini

ハナブトハナアブ亜族 Subtribe Brachyopina

5. ツマグロハナブトハナアブ *Brachyopa* sp.

[採集標本] キョロロ：2♂, 2023/5/15, 加藤大智.

ハナダカチビハナアブ亜族 Spheginina

6. コハナダカチビハナアブ *Sphegina (Asiosphegina) nitidifrons* Stackelberg, 1956

[採集標本] キョロロ：1♀, 2023/9/16, 平賀戸貴和.

7. クロハラハナダカチビハナアブ *Sphegina (Sphegina) violovitshi* Stackelberg, 1956* (図1b)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/8/19, 村越勝彦.

[備考] 胎内市からコシボソチビハナアブ *Sphegina clunipes*が記録されているが(櫻井 2002), この学名は現在国内の種に対して使われておらず, 一部の記録において本種またはミカドハナダカチビハナアブ *S. mikado* Mutin, 2001に相当することが明らかになっている(Ôhara et al. 2014; 市毛 2017). 櫻井(2002)の記録についても同様の誤同定による可能性があるが, その記録を正確に把握するためには, 標本を検討する必要がある.

ナミハナアブ族 Tribe Eristalini

ナミハナアブ亜族 Subtribe Eristalina

8. スルスミシマハナアブ *Eristalis (Eoseristalis) japonica* van der Goot, 1964

[採集標本] キョロロ：1♂, 2023/5/16, 加藤大智；1♀, 2023/9/16, 小林頼叶.

9. キョウコシマハナアブ *Eristalis (Eoseristalis) kyokoe* (Kimura, 1986)

[採集標本] キョロロ：1♀, 2023/6/17, 加藤大智.

10. ナミハナアブ *Eristalis (Eristalis) tenax* (Linnaeus, 1758)

[採集標本] 大松山：1♂, 2023/5/20, 加藤大智；1♂, 2023/5/20, 小林頼叶.

11. オオハナアブ *Phytomia zonata* (Fabricius, 1787)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/8/19, 加藤大智. キヨロロ：1♂, 2023/11/5, 小林頼叶；1♀, 2023/11/5, 平賀戸貴和. 大松山：1♂, 2023/5/20, 加藤大智；1♂, 2023/7/15, 小林頼叶.

アシフトハナアブ亜族 Subtribe Helophilina

12. カクモンハラブトハナアブ *Mallota abdominalis* (Sack, 1927)

[採集標本] キヨロロ：1♂, 2023/6/17, 平賀戸貴和.

13. フタガタハラブトハナアブ *Mallota eristaliformis* Sack, 1910

[採集標本] キヨロロ：1♂, 2023/9/4, 加藤大智. 大松山：1♂, 2023/5/20, 加藤大智.

14. マツムラハラブトハナアブ *Mallota rubripes* Matsumura, 1916

[採集標本] キヨロロ：1♂1♀, 2023/6/17, 平賀戸貴和.

15. シマアシフトハナアブ *Mesembrius peregrinus* (Loew, 1846)

[採集標本] キヨロロ：1♀, 2023/9/16, 加藤大智.

ナガハナアブ族 Tribe Milesiini

モンハナアブ亜族 Subtribe Blerina

16. オオフタモンハナアブ *Blera shirakii* Barkalov & Mutin, 1991* (図1c)

[採集標本] キヨロロ：1♀, 2023/5/16, 加藤大智.

[備考] 新潟県初記録の種である.

タカオハナアブ亜族 Subtribe Criorhinina

17. ツマキモモブトハナアブ *Criorhina apicalis* Matsumura, 1916

[採集標本] 大松山：1♂, 2023/5/20, 小林頼叶.

18. ナルミハナアブ *Criorhina narumi* (Shiraki, 1952)* (図1d)

[採集標本] キヨロロ：1♀, 2023/5/16, 加藤大智.

[備考] 新潟県内の記録として、新発田市がある（櫻井 2002）.

19. オオモモブトハナアブ *Matsumyia jesoensis* (Matsumura, 1911)* (図1e)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/8/19, 渡辺晃史.

[備考] 新潟県内の記録として、糸魚川市（*Matsumyia ferdinandi*として掲載）がある（櫻井 2002）.

ナガハナアブ亜族 Subtribe Milesiina

20. スズキナガハナアブ *Spilomyia suzukii* Matsumura, 1916

[採集標本] キョロロ：2♂, 2023/9/4, 加藤大智；1♂, 2023/9/16, 小林頼叶.

ヨコジマナガハナアブ亜族 Subtribe Temnostomina

21. ムツボシハチモドキハナアブ *Takaomyia sexmaculata* (Matsumura, 1916)* (図1f)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/6/18, 加藤大智.

[備考] 新潟県内の記録として、魚沼市がある（竹内 2009）.

22. ニトベナガハナアブ *Takaomyia nitobei* Matsumura, 1916* (図1g)

[採集標本] 天水山：2♂, 2023/6/18, 加藤大智.

[備考] 新潟県内の記録として、魚沼市がある（竹内 2009）.

ハラナガハナアブ亜族 Subtribe Xylotina

23. キアシハラナガハナアブ *Brachypalpoides simplex* (Shiraki, 1930)

[採集標本] 天水山：1♀, 2023/6/18, 加藤大智.

24. ハラアカハラナガハナアブ *Chalcosyrphus laterimaculatus* Jeong, Jung & Han, 2017

[採集標本] キョロロ：1♂, 2023/6/17, 平賀戸貴和.

25. ヨツモンナガハナアブ *Chalcosyrphus nemorum* (Fabricius, 1805)

[採集標本] キョロロ：1♀, 2023/9/16, 加藤大智；1♀, 2023/9/16, 平賀戸貴和.

26. ナミルリイロハラナガハナアブ *Xylota danieli* Mutin & Ichige, 2014

[採集標本] キョロロ：1♂, 2023/6/17, 平賀戸貴和.

コヒラタアブ亜科 Subfamily Pipizinae

27. クロモンコハナアブ *Pipiza lugubris* (Fabricius, 1775)* (図1h)

[採集標本] キョロロ：1♀, 2023/9/16, 加藤大智.

[備考] 本種に酷似する *P. inornata* Matsumura, 1916 との形態的差異は明らかにされていない。市毛（2006）に *P. inornata* のタイプ標本の再記載があるが、カビが生じ、被毛の状態が悪いため、比較が困難であるという（市毛, 私信）。国内各地の本種やその近縁種と思われるメス標本やまだ不明で

ある国内の本種に相当するオス標本の検討，及びDNA配列の比較が種の確定のために必要である。

28. ミフシコヒラタアブ *Triglyphus aureus* Virolvitsh, 1980

[採集標本] キョロロ： 1♀， 2023/8/7， 加藤大智。

ヒラタアブ亜科 Subfamily Syrphinae

ヒラタアブ族 Tribe Syrphini

29. オオヒメヒラタアブ *Allograpta (Allograpta) javana* (Wiedemann, 1824)

[採集標本] 大松山： 1♂， 2023/7/15， 小林頼叶。

30. クロヒラタアブ *Betasyrphus serarius* (Wiedemann, 1830)

[採集標本] 天水越： 1♂， 2023/6/18， 加藤大智。 大松山： 1♂， 2023/7/15， 小林頼叶。

31. ヘリヒラタアブ *Didea alneti* (Fallen, 1817)

[採集標本] キョロロ： 1♀， 2023/11/5， 小林頼叶。

32. ヨコジマオオヒラタアブ *Dideoides latus* (Coquillett, 1898)

[採集標本] 天水山： 1♂， 2023/6/18， 加藤大智； 1♂， 2023/8/19， 村越勝彦； 1♂， 2023/8/19， 加藤大智。 キョロロ： 1♀， 2023/9/16， 小林頼叶。 大松山： 1♂， 2023/7/15， 加藤大智。

33. シバカワオビヒラタアブ *Epistrophe (Epistrophe) shibakawae* (Matsumura, 1917)

[採集標本] キョロロ： 1♂， 2023/5/27， 加藤大智。

34. エダシゲオビヒラタアブ *Epistrophe (Epistrophe)* sp.

[採集標本] 大松山： 1♂， 2023/5/20， 小林頼叶； 1♂， 2023/6/25， 加藤大智。

35. ホソヒラタアブ *Episyrphus (Episyrphus) balteatus* (de Geer, 1776)

[採集標本] 天水山： 1♀， 2023/8/19， 村越董・舞； 2♀， 2023/8/19， 村越心士； 1♀， 2023/8/19， 村越勝彦； 1♀， 2023/8/19， 平賀戸貴和。 キョロロ： 4♀， 2023/6/17， 村越董・舞； 1♀， 2023/6/17， 村越心士； 1♂1♀， 2023/6/17， 平賀戸貴和； 1♂4♀， 2023/9/16， 小林頼叶； 1♀， 2023/9/16， 加藤大智； 1♀， 2023/11/5， 小林頼叶； 1♀， 2023/11/5， 平賀戸貴和。

36. ナミホシヒラタアブ *Eupeodes (Eupeodes) bucculatus* (Rondani, 1857)

[採集標本] キョロロ：1♂, 2021/6/6, 加藤大智. 大松山：1♂, 2023/5/20, 大谷成輝；1♂, 2023/5/20, 小林頼叶.

37. タカネムツモンホソヒラタアブ *Melangyna (Melangyna) coei* Nielsen, 1971

[採集標本] キョロロ：1♂, 2023/10/16, 加藤大智.

38. キオビハラボソヒラタアブ *Melangyna (Meligramma) cincta* (Falln. 1817)* (図1i)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/8/19, 加藤大智.

[備考] 新潟県内の記録として、魚沼市がある（竹内 2009）.

39. カオグロオビホソヒラタアブ *Meliscaeva omogensis* (Shiraki & Edashige, 1953)* (図1j)

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/6/18, 加藤大智.

[備考] 新潟県初記録の種である. 全国的に標高1000 m以上で生息が確認されており（桂 1999）, 本種もこれに近い標高帯で得られた.

40. オオクチグロヒラタアブ *Parasyrphus nigratarsis* (Zetterstedt, 1843)* (図1k)

[採集標本] 大松山：1♂, 2023/5/20, 小林頼叶.

[備考] 新潟県初記録の種である. 全国的に少ない種であると考えられている（市毛 2001）.

41. ミナミヒメヒラタアブ *Sphaerophoria indiana* Bigot, 1884

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/8/19, 村越勝彦. キョロロ：1♂1♀, 2023/6/17, 村越心士；4♂5♀, 2023/6/17, 村越董・舞；1♂, 2023/6/17, 小林頼叶；1♂, 2023/6/17, 平賀戸貴和；1♀, 2023/11/5, 小林頼叶. 大荒戸：1♂, 2023/7/15, 小林頼叶. 大松山：2♂, 2023/7/15, 平賀戸貴和；1♂2♀, 2023/7/15, 村越心士；3♂1♀, 2023/7/15, 村越董；2♂, 2023/7/15, 村越勝彦；7♂1♀, 2023/6/17, 小林頼叶.

42. ホソヒメヒラタアブ *Sphaerophoria macrogaster* (Thomson, 1869)

[採集標本] キョロロ：3♂3♀, 2023/6/17, 村越心士；1♂, 2023/6/17, 村越董・舞；1♂1♀, 2023/6/17, 小林頼叶；1♂1♀, 2023/6/17, 平賀戸貴和；1♀, 2023/11/5, 小林頼叶.

コシボソハナアブ族 Tribe Bacchini

43. ツマグロコシボソハナアブ *Allobaccha apicalis* (Loew, 1858)

[採集標本] キョロロ：1♀, 2023/6/17, 小林頼叶.

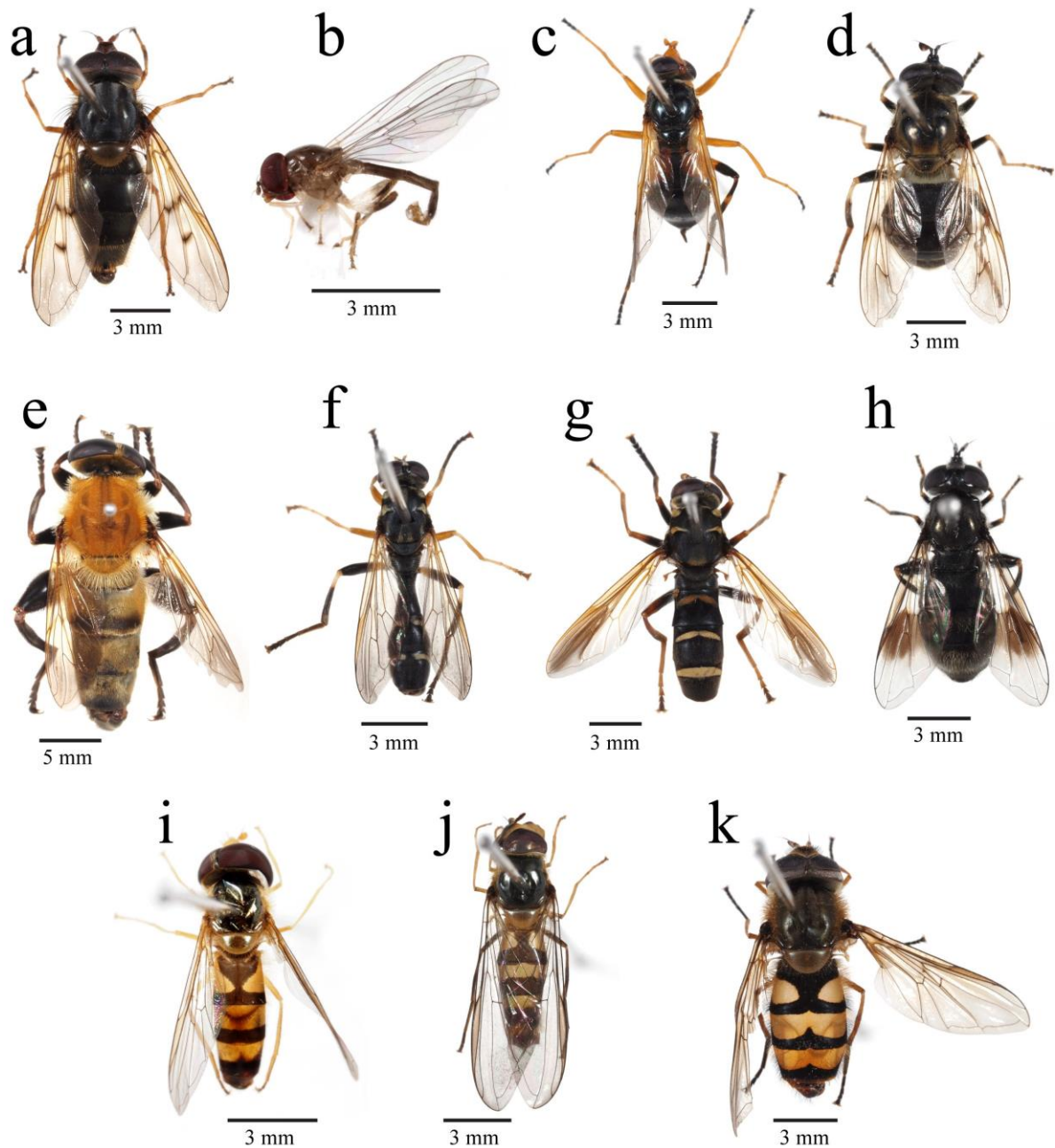


図1. 松之山初記録のハナアブ科. a. スズキフタモンハナアブ♂. b. クロハラハナダカチビハナアブ♂. c. オオフタモンハナアブ♀. d. ナルミハナアブ♀. e. オオモモブトハナアブ♂. f. ムツボシハチモドキハナアブ♂. g. ニトベナガハナアブ♂. h. クロモンコハナアブ♀. i. キオビハラボソヒラタアブ♂. j. カオグロオビホソヒラタアブ♀. k. オオクチグロヒラタアブ♂.

44. マダラコシボソハナアブ *Baccha maculata* Walker, 1852

[採集標本] 天水山：1♂, 2023/8/19, 平賀戸貴和. キョロロ：1♀, 2023/6/17, 加藤大智. 大松山：

1♀, 2023/5/20, 加藤大智.

ツヤヒラタアブ族 Tribe Melanostomatini

45. ナガツヤヒラタアブ *Melanostoma interruptum* Matsumura, 1919

[採集標本] キョロロ: 1♂1♀, 2023/9/16, 平賀戸貴和; 1♀, 2023/9/16, 小林頼叶. 大松山: 1♂, 2023/5/20, 加藤大智.

46. ホソツヤヒラタアブ *Melanostoma mellinum* (Linnaeus, 1758)

[採集標本] 大松山: 1♂, 2023/5/20, 大谷成輝.

47. ツヤヒラタアブ *Melanostoma orientale* (Wiedemann, 1824)

[採集標本] キョロロ: 1♂2♀, 2023/6/17, 平賀戸貴和; 1♀, 2023/6/17, 村越董・舞; 1♂1♀, 2023/6/17, 村越心士.

48. ナミヒラアシヒラタアブ *Platycheirus (Platycheirus) clypeatus* (Meigen, 1822)

[採集標本] キョロロ: 1♀, 2023/6/17, 小林頼叶; 1♂, 2023/9/16, 小林頼叶; 1♀, 2023/9/16, 平賀戸貴和.

マメヒラタアブ族 Tribe Paragini

49. キアシマメヒラタアブ *Paragus (Pandasyophthalmus) haemorrhous* Meigen, 1822

[採集標本] キョロロ: 1♂2♀, 2023/6/17, 村越董・舞; 2♂, 2023/6/17, 村越心士; 1♂, 2023/6/17, 小林頼叶; 1♂, 2023/6/17, 平賀戸貴和; 2♂, 2023/9/16, 平賀戸貴和; 2♂1♀, 2023/9/16, 小林頼叶. 大松山: 1♂1♀, 2023/7/15, 村越勝彦; 1♂, 2023/7/15, 小林頼叶.

50. ムチンシママメヒラタアブ *Paragus (Paragus) claussemi* Mutin, 1999

[採集標本] キョロロ: 1♂, 2023/10/16, 加藤大智.

考察

これまでの松之山におけるハナアブ科の調査により, 2022年に82種(加藤ら 2022), 2023年に14種(加藤ら 2023)が追加され, 今回は11種が追加となったが, 依然として多くの未発見種が松之山に生息していると思われる. 国内における分布及び生態から, 松之山に生息していないとは考え難い種が何種も存在し, 実際に目視のみで採集に至らなかった未記録種と思われるハナアブを今回の調査中に数種確認している.

本研究により新潟県産のハナアブ科は3種追加されて192種（うち学名不明種26種）となり、全国的にも比較的調査が進んでいると考えられる。都道府県または市町村単位のハナアブ科の目録で上位の種数が掲載されているものとして、北海道の196種（うち疑問符付きの記録が3種）（北海道環境データベース http://edb.pref.hokkaido.lg.jp/hes_sys/library.html, 2024.1.5 参照）、京都府の176種（うち学名不明種16種、疑問符付き6種）（大石 2002）、山口県の176種（うち学名不明種23種）（田中 2009）、東京都の170種（学名不明種なし）（東京都本土部昆虫目録 <http://tkm.na.coocan.jp/>, 2024.1.5 参照）、青森県の167種（うち学名不明種16種）（市田 2002）、埼玉県の154種（うち学名不明種17種）（玉木 1997）、那須塩原市の153種（うち学名不明種4種）（松村 2009; 2016）が挙げられる。ただし、特に比較的古い報告においては、種の定義や学名の扱いの変更が反映されていない種が含まれている場合があり、種数に関しては今後精査される必要がある。

訂正

加藤ら（2023）におけるホソオビヒラタアブ *Epistrophe (Epistrophe) angustifasciata* (Violovitsh, 1956) (P6) は現在ノラヒラタアブ *E. (E.) griseofasciata* (Matsumura, 1918)の新参シノニムとされているため、この通り訂正する。

謝辞

渡辺晃史氏（新潟大学農学部）、高橋一浩氏・高橋梅氏（新潟市）氏、双翅目談話会会員各位にはハナアブしらべに単発的にご参加いただいた。また、市毛勝義氏（双翅目談話会）には文献や一部の種の情報をご提供いただいた。この場を借りて厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Choi D-S, Ôhara K, Han H-Y (2006) Taxonomic notes on the *Volucella pellucens* species group (Diptera: Syrphidae) with a description of one new species from the Eastern Palaearctic. *Zootaxa*, 1185(1) : 1-19.
- 市田忠夫（2002）青森県産ハナアブ科（Syrphidae）リスト。 *はなあぶ* 13 : 43-58.
- 市毛勝義（2001）茨城県からのオオクチグロヒラタアブ及びコシアカモモトハナアブの記録。 *はなあぶ* 12 : 67.
- 市毛勝義（2006）日本産コヒラタハナアブ属について（第1報）－松村松年記載のコヒラタハナアブ属 *Pipiza* について－。 *はなあぶ* 21 : 25-30.
- 市毛勝義（2017）日本産 *Sphegina* ハナダカチビハナアブ属について。 *はなあぶ* 44 : 31-96.
- 桂孝次郎（1999）ビルの屋上（大阪市西区）に飛来したカオグロオビホソヒラタアブ。 *はなあぶ* 7 : 51.
- 加藤大智・大谷成輝・大谷康代・小林頼叶・小林光・村越心士・村越董・村越勝彦・村越舞・村山

- 暁 (2022) 十日町市松之山のハナアブ科の記録 (昆虫綱: ハエ目). 「森の学校」キョロロ研究報告 3: rk202202.
- 加藤大智・平賀戸貴和・平賀利江・小林頼叶・小林光・村越心士・村越董・村越勝彦・村越舞・大谷成輝 (2023) 十日町市松之山のハナアブ科の追加記録 (昆虫綱: ハエ目). 「森の学校」キョロロ研究報告 4: rk202303.
- 松村雄 (2009) 栃木県那須塩原市のハナアブ科採集記録. *はなあぶ* 27: 21-30.
- 松村雄 (2016) 栃木県那須塩原市のハナアブ科採集記録II(2009~2014). *はなあぶ*41: 33-41.
- Ôhara K, Ohishi H, Ichige K (2014) Family Syrphidae, pp 465-528. Nakamura T, Saigusa T, Suwa M (eds) *Catalogue of the Insects of Japan Volume 8 Diptera. Part 2: Brachycera Schizophora. Touka Shobo, Fukuoka.*
- 大石久志 (2002) 京都のハナアブ. *はなあぶ* 14: 24-44.
- 櫻井精 (2002) 新潟県産ハナアブ科目録. *はなあぶ* 13: 59-72.
- 櫻澤英郎 (2022) 三条市の双翅目の目録の一端. *越佐昆虫同好会報*126: 21-28.
- 竹内正人 (2009) 双翅目談話会研究資料 (3) 写真集 ハナアブ300. 双翅目談話会, 大阪.
- 玉木長寿 (1997) 埼玉県産の双翅類, pp 1-405. 碓井 徹 (編) 埼玉県昆虫誌 II. 双翅目. 埼玉昆虫談話会, 埼玉.
- 田中伸一 (2009) 山口県産ハナアブ目録. *豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書* 2: 73-81.